

テーマ別セッションについて

平成28年度北海道地区FD・SD推進協議会総会では、昨年同様、テーマ別セッションを実施いたします。

単なる講演では、その研修が成功した大学の事例を学ぶことはできますが、自校への適用がすぐにできるわけではありません。大学によって事情や制度が大きく異なるからです。

そこで、テーマを設定して、それぞれの大学の事情を勘案しながらテーマに関する具体的な実施方法や成果を紹介していただき、その長所や短所、改善方法などを参加者全員で考えていきます。その過程で、自校の研修に採用できそうなアイデアが生まれてくることを期待します。成功例だけでなく失敗例も歓迎いたします。

今年度のテーマは以下の3つです（括弧の中は司会者）。テーマ別セッションに参加される方は全員、そのテーマについての自校での試みをお話してください。プロジェクターやパソコンを用意しますが、紙による資料提供でも構いません。一人5～10分程度の発表時間を予定しています。口頭だけによる発表でも、実施していない旨の報告でも構いません。

なお、出席について別紙2によりご回答いただく際には、出席者の参加希望テーマ（1～3のいずれか）を併せてお知らせくださるようお願いいたします。

テーマ1：「教員個々の授業改善（授業参観、相互評価、授業アンケートなど）」

（北海道大学 教授 細川敏幸）

教員個々の授業改善の方法として、近年では教員研修の機会が増えています。しかしながら、これまでの主流であった教員相互の授業参観・相互評価や授業アンケートを行っている大学もまだ多いのではないのでしょうか。これらをより効率的・効果的に実施していく方法について議論します。

テーマ2：「教職員のマネジメント能力等の育成」

（北海道科学大学 教授 有澤準二）

大学のマネジメントが重要な課題になっていますが、われわれ教職員はどのようにマネジメント能力を身につけていけばよいのでしょうか。教職員のマネジメント能力育成の方法、課題や現状について議論します。

テーマ3：「効果的なSDのための上司の役割・あり方」

（北海道医療大学 学務部次長 笠原晴生）

職員の能力開発を行う上で、上司の役割・あり方は重要な要素の一つです。部下のやる気を伸ばし、能力を育成するために上司がやらなければいけないことについて議論します。